

都市農村交流で新しい楽しみをつくる
地域のよさを再発見したり感動を味わったりしませんか？

忍者の里^{甲賀}で 田舎体験!

修学旅行や宿泊を伴う野外活動の

受入家庭 大募集!!

都市住民が自然豊かな田舎でゆっくり過ごし、自然や食に触れる都市農村交流がとても注目をあびています。その理由のひとつに、受入側である家庭にも新たな出会いや経験で楽しみが増えていることがあります。



夕食準備の様子



ぼんぼこちゃん



畑仕事を
している様子



にんじやえもん

甲賀市では、教育旅行(修学旅行など)の農村生活体験「忍者の里こうかで田舎体験」の受入を実施しています。農山村での生活体験・郷土料理づくりなどを通して、子どもたちは、生命の尊さや食の大切さを知り、思いやりの心や豊かな人間性を育みます。

そんな感動体験の
お手伝いをいただける
受入家庭を募集しています。

お問合せ
お申込み

甲賀市都市農村交流推進協議会

甲賀市都市農村交流推進協議会は、甲賀市、甲賀市教育委員会、甲賀農業協同組合、甲賀市商工会、甲賀市観光協会、信楽町観光協会、滋賀中央森林組合、土山漁業協同組合で構成された組織です。

[事務局] 〒528-8502 甲賀市水口町水口6053番地 甲賀市役所農業振興課内

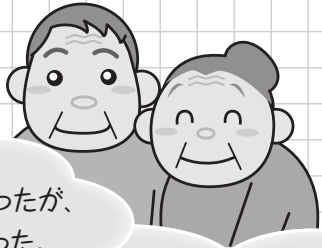
TEL : 0748-69-2192 FAX : 0748-63-4592

Eメール : ninjanosato@gmail.com

今まで受入をしてくださった ご家庭の皆さんの声



にんじやえもん



1回目は肩肘を張ったが、
2回目は気楽だった。

1泊2日では短かすぎる。

本格的な交流をするには、
最低でも2泊3日はしてほしい。

中学生から
元気をもらえた。

何か特別なことをしようと
思ってもできるものではない。
自分にできないことは学生にも
できないのだから、
できることをやるのがいい。

朝6時からの散歩を通して、
朝に学生がヘルメットをかぶって
自転車通学していること自体が不思議と言っていた。

また、お年寄りが旗を持って
横断歩道に立つことも新鮮だったようだ。



収穫から料理までを体験して
もらったのはよかったと思う。

自然のままを見てもらう
というスタンスで接したら、
気負わずに受入ができた。

1泊2日してもらっただけだったが、
「いま、あの子はどうしているのだろう。」
という気持ちになった。

われわれがごく普通にしていることが、
彼らにとっては全く初めてのこと。

よくある質問

Q：受入ってどんなことするの？大層なこと
とせんとあかんと違うの？

A：通常、1軒につき4名程度を受け入れて
いただき、一緒に普段どおりの生活
を送っていただきます。都会からやって
くる子どもたちにとっては、農山村で
の普段の生活そのものが新鮮な体験
です。特別なことをせず、庭の草むしり
でも何でも、その時々にご家庭でやっ
ておられることを一緒にやっていただ
くことに意味があります。

Q：これってボランティアなん？受入する
のは楽しそうやけど、何回も受け入れ
たらお金がかかりそうやなあ。

A：例えば4名1泊の受入の場合、体験受
入謝礼金として25,000円程度お支払
いしています。

Q：うちは非農家やし無理かなあ？

A：非農家のご家庭でも、農山村や甲賀
市らしい体験ができれば大丈夫です。

また、宿泊はご自宅で、体験はお知り合
いの田畑で、という組合せも可能です。

Q：体験ってどんなことしたらいいの？雨
が降ったらどうするの？

A：家庭菜園の手入れやおやつ作りなど、
いつもどおりの生活を一緒に送って
いただければ結構です。参考にして
いただけるよう、今までの体験リストを
作成しています。

Q：食事が心配。何を作ったらいいの？

A：家の畑で採れた野菜で、子どもたちと
一緒に肉じゃがなどのお料理を作るの
が一番のごちそうです。参考にして
いただけるよう、今までのメニューをリス
ト化しています。

Q：事故やけが等、万一のことがあったら
どうしたらいいの？

A：受入家庭の皆さんにも安全には気を
つけていただきますが、安全対策や緊
急対応は協議会と学校の役割です。ま
た、協議会では、もしもの場合に備え
て賠償保険に加入していますので、ご
安心下さい。

Q：いきなり受入するのは心配やけど、研
修とかはないの？

A：初めてのご家庭でも安心して受入し
ていただけるよう、受入事前研修を開
催しています。その他、料理講習会や
体験スキルアップ講座なども開催予
定です。



ぼんぼこちゃん

